

第2回放課後対策部会での報告事項概要

府中市における学童クラブと放課後子ども教室の今後の方向性について、当課作成の案をもとに、検討を行った。

1 府中市における学童クラブと放課後子ども教室の今後の方向性について（案）

(1) 学校施設の活用と連携強化

学童クラブおよび放課後子ども教室が学校施設に一体的に整備され複合化する機を捉え、学校施設の徹底的な活用を図ることで学校との更なる連携強化を目指し、保護者の就労その他に関係なく、全ての児童が放課後に多様な体験・活動を行うことができる環境を整備する。

(2) 地域資源の活用

当該学区で生活する児童が学童クラブ以外にも安全・安心な放課後の居場所の確保ができるよう地域における公民連携を一層強化していくとともに、市民に対し広く周知していく。

(3) 放課後プログラムの充実

全ての児童が学ぶ意欲を満たし、一緒に参加できる学習・体験活動を通して、学びを深め、広げることのできる多様なプログラムを実施する。

2 委員から出された意見等

(1) 学童クラブ、放課後子ども教室に参加する異年齢児が交流し、活動できる機会を作ることが児童の豊かな放課後につながるのではないかと。

(2) 民間委託をしている、または民間委託予定の施設については、当該小学校の改築までの期間に、学童クラブと放課後子ども教室の実施事業者を同一事業者とし運営・連携しやすい環境を整え、人員を共有することで、両事業の人員不足を補っていくことができるのではないかと。

(3) 児童が安全・安心に放課後を過ごせる場のニーズは増加傾向にあるため、安定的にそのような場を提供できる実施主体を増やしていく必要があり、また、多様な活動プログラムの企画力を持つ民営学童クラブの需要は高まる一方であるが、民営学童クラブは地域の中では「会社」として捉えられやすいため、地域に入っていくのが難しいのではないかと。

- (4) 地域や各学童クラブの特色を持ちながらも、質に関しては同じ水準のサービス提供をしてほしい。
- (5) 学童クラブと放課後子ども教室の委託については、1 団体が受託した方が連携強化され効率的なのか、複数団体が受託し特色を出していくのがより良いのかは今後、調査、検討していく必要がある。